

**【全国合同調査】**  
**2022 年全国通訳案内士筆記試験**  
**受験者アンケート集計結果報告**

2022 年 9 月 22 日  
全国通訳案内士団体連合& CEL 英語ソリューションズ

本アンケートの情報を入手した団体名にチェックを入れてください。(複数回答可)

アンケート回答総数：154名

質問1：受験科目：8月21日に筆記受験した科目にチェックをお願いします。必須

質問1				
外国語	地理	歴史	一般常識	通訳案内の実務
94	79	55	92	105

外国語を受験された方は受験言語にチェックを入れてください。任意

質問2				
英語	フランス語	スペイン語	ドイツ語	中国語
89	1	0	1	2
イタリア語	ポルトガル語	ロシア語	韓国語	タイ語
2	0	1	0	1

質問2：受験科目の難易度について。

受験された各科目の難易度に関して、当てはまるものをプルダウンメニューよりお選びください。

外国語

【 とても難しかった ・ 難しかった ・ 普通だった ・ やや簡単だった ・ 簡単だった】

地理

【 とても難しかった ・ 難しかった ・ 普通だった ・ やや簡単だった ・ 簡単だった】

歴史

【 とても難しかった ・ 難しかった ・ 普通だった ・ やや簡単だった ・ 簡単だった】

一般常識

【 とても難しかった ・ 難しかった ・ 普通だった ・ やや簡単だった ・ 簡単だった】

通訳案内の実務

【 とても難しかった ・ 難しかった ・ 普通だった ・ やや簡単だった ・ 簡単だった】

質問2					
	とても難しかった	難しかった	普通だった	やや簡単だった	簡単だった
外国語	10	28	40	11	3
地理	5	34	30	6	3
歴史	8	19	20	6	2
一般常識	6	24	47	9	5
通訳案内の実務	16	40	27	15	7

**質問3**：受験科目に関する感想について

1. 受験された科目の感想について、プルダウンメニューの選択肢より当てはまるものをお選び下さい。(複数選択可)

**【選択肢】**

- ① 問題数が多すぎて考える時間が少なかった
- ② 教科書や各種の参考書に記載されていない事項を問う問題が多かった。
- ③ 自分の勉強不足
- ④ 合格点の設定が高すぎる。
- ⑤ 質問事項が通訳案内士として必要とされている知識と思えない。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症のために、勉強時間が不足した。
- ⑦ 通訳案内士試験の出題傾向の変化が激しいので、過去問題を参考にした勉強が役に立たない。
- ⑧ その他

質問3								
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
外国語	17	10	30	13	4	2	27	14
地理	6	20	19	8	16	3	14	12
歴史	8	13	13	8	11	1	9	6
一般常識	16	17	15	1	12	2	23	22
通訳案内の実務	44	10	16	2	11	1	14	19

2. 選択肢以外の感想・ご意見などございましたら自由記載欄にお書きください。

	自由記載
外国語	<p>・一昨年の1次試験を受験し、1次は合格しました。2次試験通過できず、今回1次から受験しました。一昨年と比べて1次試験の設問量が格段に増えたように思います。これ、単純に設問の数だけでなく、枝問を読み込まないと回答できない、という内容です。回答には時間を要するので、格段に難しくなったと感じた方も多かったようです。私は、「難易度」は例年よりもやや上、というくらいかもしれないが、時間を要するという点では一昨年の比ではないように感じました。一言でいうなら「解答作成時間が足りない」というのが実感です。</p> <p>・①英語の問題1では1pgの文章に対して穴埋めをする箇所が24個ありました。穴埋め問題を減らして日本文化や観光を問う問題を増やして良いと思います。②英語の問題2では文章の行間が詰まり過ぎて読みづらいです。印刷されないページが巻末に3ページあるので行間を広げて印刷出来ると思います。③英語の問題2では第3パラグラフからの設問がなく、2問が第5パラグラフから出題されて出題に偏りがあると思います。</p> <p>・1問目の質問の数が多くて、少々面喰いました。</p> <p>・2021年度の英語の試験は非常に難しく、平均点も40点位だっただろうと聞きました。試験の難易度が大きく変わるのは困ります。それでも点数の調整もなかったようです。出題者が替わっても、一定の範囲内での難易度であって欲しいです。</p> <p>・20年度まで読解の4択と作文からの問題で、質量ともに適性と思われましたが、21年は、急に全問マーク式4択となり混乱しました。特殊な単語がキーワードになっていたり、大問4では、ドイツ語の実力とは関係ない、難しい「クイズ」のような問題が多かったと思います。今回もやはり全部マーク式で、これは予算や英語などとの兼ね合いでやむ得ないのかもしれませんが、問題構成は20年度までの、前半は4択、後半は作文が良いと思います。今年度の内容は難解な単語が少なく、大問4も「クイズ」の内容がより一般的になり、この辺は二回目のマーク式実施で大分前回よりの修正がなされたと考えられて、この点はよかったです。</p> <p>・IJCEEでの修行の成果で非常に難しいとは思わなかった。しかし19には多数</p>

	自由記載
	<p>見られた途中退席者がほとんどおらず、対策していない受験者には引き続き難しかったと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マークシートの解答用紙の選択肢部分が色が薄く、部屋のライトが暗めで少し見づらいつ感じました。ただし、それによって回答に支障が出るほどではありませんでした。</li> <li>・一昨年の試験に比べるととても簡単に思えた。</li> <li>・英語というより知識不足で間違つた。</li> <li>・英語の昨年の問題が超難解だったため、今年は易しく感じ、このレベルなら合格できる人が多いと思う。年度によりレベルに差がありすぎなのは非常に困る。英検や TOEIC で免除するのではなく、本来の通訳案内士試験に必要な問題を持って受験させてほしい。落とすための試験ではなく、ガイドにふさわしい能力や人物を引き上げる試験内容にして欲しい。</li> <li>・過去の出題形式とガラツと変わつている印象があり、気持ちが少し動転してしまいました。試験の1時間目ということもあり、気持ちが付いて来ず集中力に欠けてしまいました。</li> <li>・簡単でした。語句整序問題は、現実の世界ではあり得ないものですので、なくなって良かったと思います。</li> <li>・去年 55 点しかとれなくて、再受験でした。CEL の授業と、去年購入した問題集で1周しかできなかった問題を再度解き、去年より対策して挑みました。結果、20分時間が余つて、88点でした。並べ替えもなくなったし、去年より内容が易しくなつていたように感じました。合格点の設定が高すぎるとも、内容がガイド的ではないとも感じません。</li> <li>・去年が難しすぎた。並べ替え問題等よくしていたが、今年ではなかった。去年の失敗をいかしてタイムマネジメントをしっかりとできたので優しく感じた。去年に比べると組みしやすかつたが凡ミスが多く自己採点だと少し足りない感じだす。この科目が鬼門になりそうです。</li> <li>・去年の長文の内容に比べると、よっぽど通訳案内士らしいコンテンツだつたと</li> </ul>

	自由記載
	<p>思うので解きやすかったです。はっきり言って去年の長文は編集に無理があったように思います。長文の大筋の流れも編集しすぎて歪で、空所が多すぎて大筋が大変掴みにくい内容でした。今年の問題では、外国人観光客は「ぼた餅」や「菖蒲湯」の質問をしてくる人はいるのだろうか？と疑問に思いました。2019年までの試験時間が2時間の時は出題内容も比較的簡単で通訳案内士が知っておくべき内容がふんだんに盛り込まれており、外国人観光客の目線での疑問、質問で作成されているように思いました。2019年の試験は余裕で合格ラインにいけてたのが、一気に難しくなったように思います。国家試験であれば、どの年に受験しようが、同じ条件で難易度は公平に保つたもつべきだとも思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・傾向は作問者によって変わる印象があるが、英語力があれば解けると思う。</li> <li>・結果はだめだったが、やっと本来の通訳案内士向けの英語の試験問題になった。会場が暗くて英語の活字が小さくて見づらかった。活字をおおきくしてほしい。席を窓際に変えてもらいました。</li> <li>・語句選択の問題の選択肢が縦に揃ったのは嬉しかった。揃っていなかった時はとても見にくかったから。</li> <li>・今年の長文はジャパントイムズからだったので、日頃から読んでおけばさらによかった。</li> <li>・昨年と、今年度の問題の難易度にあまりにも差があり、正直申し上げて大変な不公平感を感じた。皆、一年に一度の試験のために、また合格した科目の有効期間が一年ということもあり、大変な勉強をして臨んでいます。昨年のような内容の試験では、勉強してきたことが全く活かせず、落とすための試験なのかと思ったほどです。難易度の平均化をお願いしたいと思います。</li> <li>・昨年との難易度の差が大きく、今年はかなり簡単だったと感じた。語句整序問題も一問もなく、対策を必死にした割に、拍子抜けした。</li> <li>・試験時間が90分では短い。特に昨年は7割を越える人はほとんどいなかったのではと思う。今年は長文の量が減ったとはいえやや時間が短かった。免除者との不公平感を感じる。</li> <li>・時流にあった設問と、考えます。</li> </ul>

	自由記載
	<p>・実際のテストに沿った市販の参考書が少なく、専門の学校に行く以外に選択肢がない。独学でも、ある程度対策できるようにしてほしい。</p> <p>・受験者としては出題傾向を研究して準備するのは当たり前だが、出題する方は英語の能力を測るわけだから、難易度が大きく上下するようであれば問題ないと思う。</p> <p>・大問1は時事英語ニュース、英字新聞からの出題でした。ガイドとして大切だとわかり、今後それを毎日読み聞くことを習慣にして、TJSの教材と共に勉強していこうと思います。</p> <p>・長文含め大変良い問題だったように思います。</p> <p>・難しい単語が多く、TOEICや英検である程度成績を取っていてもカバーしきれない。このよう難しい単語が必要か疑問に思う。</p> <p>・評価法の観点から試験の信頼性が高いと言えない。外国語の試験は受験者の外国語能力を測るものであるべきところ、地理、歴史等の知識を測るものになっている設問がある。つまり、タイ語が読めてもこれらの知識がなければ解くことができない設問がある。</p> <p>・勉強なしのぶっつけ本番の受験でした。合格しませんが、来年に向けて前向きな気持ちになりました。</p> <p>・本年は並び変え問題が無く、その分、助かった。ここ3年は出題されて来たが並び変え問題が通訳案内士として必要な英語力かについては疑問である。また語句挿入問題は今年も多数出題されたが、英単語のパズル問題の感ありで通訳ガイドとしての英語力は何なのか、もっと深刻に検討して並び変え問題、大学入試問題、語句挿入問題、単語当て嵌めパズルは見直しが必要と思う。</p> <p>・問題数というより大問1-2, 3, 9など穴埋め問題が3つもくると、読み込むのに時間がかかり、試験内容の難しさよりも時間配分が難しかった。</p> <p>・昨年よりは、優しかったと思うが、英語の対策勉強法が今ひとつわからない。英文解釈と英訳の勉強だけでは、前置詞や熟語の穴埋めが網羅できず、苦戦して</p>



	自由記載
	<p>います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・率直に言って、学習で分かるレベルを超えた超難問だらけだったかと思います。特に日本語訳のニュアンスを問う問題は、その日本語の差も微妙な印象で、私は中国語の現役ビジネス通訳ですが、現場でここまでのニュアンス訳出しは unnecessary です。なぜここまで難問化するのか、ちょっと疑問です。</li> <li>・例えば、長文の穴埋め問題が、設問ごとに上から下まで見ないといけなく、やりづらかった。単純に、正誤問題を多くした方が、読解度を測れるのではないか。</li> <li>・例年に比べて、今年はコロナウイルスに悩まされる社会という日常に近い問題が出題されて解きやすかった。また、時間配分も配点の高い箇所から落ち着いて取り組めば問題なかった。</li> </ul>
日本地理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドが知っておくにふさわしい問題と思いました。英語テストの後で頭が少し疲れていて自分の知っている問題の答えを間違えたところがありましたが、楽しく答えられました。</li> <li>・そこは、あまり外国の方は行かないのでは？という場所も出題された。平均を高くしないためには必要な措置というのは分かりますが・・・</li> <li>・たまたま旅行で行った場所が出たので、解きやすかった。</li> <li>・どの科目でも言える事ですが、難易度の変化が著しく、年度によって通訳案内士の質が一定とは言えない事態が起こっていると思われます。</li> <li>・一都市・観光地についての設問が多く、その観光地について少し深い知識が必要だった。</li> <li>・観光地理にしてはかなりマニアックな問題が多いように思った。トリビア的な問題も多く、絶対落としてはいけない基礎的な問題を、いかに落とさないかが重要なのかなと感じた。</li> <li>・傾向が毎年変わるので、対策が取りにくい。</li> <li>・個人的に地理が好きなのもあるが、問題なかったと思う。</li> </ul>

	自由記載
	<p>・今年は何もがでず、ホッとしました。やはり「見たことない」ものも出ましたが、基本問題を抑えていれば何とかなるのかなと思いました。問題数が減って、運、不運というか、住んでいる地域に左右されるというか、そういう要素が増えたのは気になります。計算すると 98 点満点でしたが、このまま 70 点以上を合格とされるのでしょうか。平均点が良かったので合格ラインを上げるということはあるのでしょうか？</p> <p>・今年は何問珍問に該当する問題は少なかったと思います。予想通り神奈川県・鎌倉と四国・愛媛県が出題されたので、心の中でガッツポーズしました。自己採点では 86 点でした。去年は自己採点 66 点で地理不合格だったので、今年はどうしても合格基準点をクリアしたくて年明け 1 月から三修社の参考書と旅に出たくなる地図を読み込むと同時にハロー通訳アカデミーの YouTube マラソンセミナーを視聴して勉強を続けました。そして 3 月・5 月・7 月の計 3 回、True Japan School の公開模試を受験し、解説動画を視聴しながら間違えた問題や不正解の選択肢について理解を深めたことが 86 点という高得点につながったと確信しています。</p> <p>・今年は何年より難問奇問が減り解答しやすかったので、良かったです。それでも数問ほど、なぜこれを問うのか？クイズ番組でもないのに、と感じた問題がありました。私たちは勉強した膨大な知識の中からたった 30 問しか答えられないのですから、本当にガイドの知識として意味のある問題を作ってほしいと願っています。</p> <p>・最近は何年より改善されているのではないかと感じました。勉強するポイントが絞れないと受験者はやる気を失うと思います。一部のマニアックな知識は不要だと思います。</p> <p>・去年に比べて簡単だったと思います。</p> <p>・参考書や過去問、模試でもお目にかかったことのないような問題がいくつか出る。</p> <p>・試験のガイドラインである「外国人観光旅客の関心の強いものについての基礎的な知識を問う」に、とても該当するとは思えない事を出題するのは、国家試験のガイドラインの信憑性に関わる問題だと思います。</p>

	自由記載
	<p>・自己採点では1問落として不合格ですが、本年のような基礎的な出題が好ましいと思います。通訳案内士になってからでもいいようなマニアックな問題は案内士試験に必要な？と常々思っておりました。</p> <p>・出雲神話の質問や、自治体の観光の質問は必要ないと思いました。</p> <p>・数年前は調整点で合格、つまり平均点（50点前後）で合格の年が数年続きましたが、その時の合格者と最近の受験生とでは不公平感を感じます。</p> <p>・妥当な問題だと思います。難問もありますが、きちんと対策すれば70点はとれます。</p> <p>・地域通訳案内士に求められるような地域に密着した出題が気になりました。鎌倉：鶴岡八幡宮の一段上がった通りの事を何というか？愛媛県：内子町の木造屋根の有る橋というのは全国通訳案内士が知っておくべきだろうか？と疑問に思います。以前のように試験時間が40分有り、問題数も多いのであれば、2、3問落としても、合否に大きく響く事はないが、問題数が少ない中で、配点も3点と大きいのであまり細かなところは、地域通訳案内士の試験問題にすべきだと思います。</p> <p>・通常に教科書を、勉強していれば、7割は取れるという印象だった。世界遺産登録の関連で沖縄県や奄美大島関連が出ると予想していたが出題されず助かった。出雲大社を問われた時は、私の出身の島根県は、全国から見たらレアな地域なのか、と感じた。</p> <p>・通訳案内士は外国語で日本を紹介するというのがメインの仕事なので社会科の科目が難しくて落とされ、折角の外国語能力を2次試験で発揮する機会を奪われるのは不合理。</p> <p>・非常にニッチな事柄を問う問題がいくつかあったように思います。実際にガイドとして自分が現地に赴く際は予め勉強するでしょうし、ガイドになる前におさえておくべきことを問うているようには思われない問題があったように思います。</p> <p>・勉強を真面目にやっていたら合格できたと思います。</p>

	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強不足が一番の理由ですが、1 問を 1 分で解くのは厳しいと感じました。4 問ほど答えられませんでした。</li> <li>・本当に通訳案内士として必要なのかという細かいところをついて来た問題が多かったような気がします。(愛媛県肱川の問題など)また、問題文と出題の内容が合致していないものもありました。</li> <li>・問題数が少ない。2020 年度の試験形式に戻すべきである。</li> <li>・和歌山の筏下りや四国の屋根付き橋は、ガイドブックをみても写真が掲載されていないので、深掘りして勉強できていなかった。また、衛星写真の地図やおとぎ話の神話的地理の問題も対策をしていなかったなので、解答できず、毎年、意表を突いた問題が出題されるので、頭が痛いし、合格点ギリギリになってしまう。</li> </ul>
日本歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CEL の講義により 100 点満点を取得することができました</li> <li>・TJS の模擬試験、歴史上級授業が珠玉でした。歴史は 100 点満点でした。</li> <li>・あまりにも難問が多すぎて、実用的でないことを聞われている。これが続く限り、この資格の認知度は悪評でしか広まらず、この資格の価値が認められない。この資格で日本ガイドの質向上にもつながっていない。負のループに陥っていると感じている。早急に問いの内容をぜひ精査してほしい。</li> <li>・そこまで細かい内容が、必要か?と思う問題が出る。</li> <li>・過去問を解いていて、かつ歴史の基礎的な知識があれば難なく解ける問題だったように思いました。</li> <li>・過去問対策が役に立たないとは思いませんが、試験作成者によって難易度も傾向もバラバラなのは、国家試験においていかなるものかと思います。今年の試験は、昨年より易しくなり、より基本的な内容を問う問題が多かったように思います。</li> <li>・好みの問題が出て嬉しかったです。</li> </ul>

	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は歴史だけだったので、十分に準備できたので、比較的簡単でした。</li> <li>・今年は受験しませんでした。年度によって難易度がかなり差があるので是正してもらいたい。せめて6割で合格にしてもらいたい。</li> <li>・昨年、今年受験しましたが、時代の中で均等に出して欲しい。広く浅くでいいのではないのでしょうか。</li> <li>・参考書等にも書かれていないと思える問題が複数ありました。合格できなかったのは、実力不足だったとしても、このような試験で篩に掛けることで、何を指しておられるのでしょうか？通訳案内士の質や意欲の向上に繋がると考えておられるのか、甚だ疑問に感じました。</li> <li>・真面目に勉強していれば受かったかもしれません。</li> <li>・知識のレベルが低かっただけに合格までの道のりが長かったです！</li> <li>・地理同様、勉強不足が一番の理由ですが、1問を1分で解くのは厳しいと感じました。</li> <li>・東海道宿の馬の数まで問われると思いませんでしたが、基本的に良問だったと思います。</li> <li>・特に改めて頂きたい点はございませんが、強いて言えば問題文が長いです。</li> <li>・日々の生活では、近代史以降に留意することが多く、受験勉強が足りなかったと反省している。出題としては問題ないと思う。</li> <li>・日本史の細かい知識を外国人旅行者が質問してくるのでしょうか？大きな流れはおさえておく必要があると考える一方、合戦の名前や天皇の名前など、日本人でも知らないような知識をガイドが分かっているべきとは思えません。</li> <li>・日本史の勉強はほぼ30年ぶりだったので、一番苦戦した。山川の「詳説日本史図録」をかなり読み込んでいたので、合格点には達したが、実際のガイディングでそこまで必要なか疑問に思うレベルの出題も多かったように感じた。</li> </ul>

	自由記載
一般常識	<p>・ガイドが心得ておくべき広範囲の内容の出題だと思いました。楽しく取り組みました。</p> <p>・一昨年も受験し、合格しました。この程度の難易度、分量なら妥当かなと思っています。</p> <p>・2019年の統計が出題されるとは予想していませんでした。</p> <p>・2022年観光白書からの出題が多かった。3回、読み返していたので7割りは取れた。アニメ関連で鬼滅の刃や、スポーツ関連で東京オリンピックや北京オリンピックなどを予想していたが出なかった。</p> <p>・20分間20問程度に対しておよそ1000問程度の問題を3ヶ月間くらい毎日勉強した。それでも、当日試験終了まで不安感に苛まれた。自己採点47/50と思うが、自分自身この分野で知識豊富とは全く思わない。</p> <p>・CELでもっと難しい問題を解いていたので、さほど難しく感じませんでした。逆に言えば、一般的な常識ではなく観光業界に偏っているので、CELの授業を受けなければまた不合格だったと思います。</p> <p>・こちらも、試験作成者によって傾向が変わります。ただ、ここ2年の傾向は、唯一明示されている出題範囲の観光白書をいかに読んでいるかを問う問題が多くなったので、その点ではガイドライン通りなのかなと思います。また、より実践においてお客様にお伝えする機会のありそうな事項が問われているような気がします。</p> <p>・コロナ禍ということもあり、観光白書からの出題範囲がコロナ前の2019年ごろの数字を対象にするなど、かなり幅広く読み込んでおかないと対応できないように感じた。</p> <p>・すみません、昨年まで⑦でずっと悩んでおりましたのでつけさせて頂きました。今年は⑦がなくとても解きやすかったです。来年からも今年と同じ様にしてほしい、その様な気持ちを込めて⑦にチェック入れました。</p> <p>・一般常識は最近の傾向も良いのですが、問われる設問が通訳案内士に必要なもの？と思うことも多いです。外国人をガイドする日本人として必要な常識問題に</p>

	自由記載
	<p>絞ってうたかたの気まぐれな問題を減らした方が良いと思います。政治、経済、エンタメなど。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何を求めている科目かが不明。政治・経済の問題比率が少ない。そもそも政治・経済の知識が通訳案内士に必要なか不明。</li> <li>・過去に一回合格しているので適切な問題だと思う。</li> <li>・去年に比べ出題内容も通訳案内士が知っておくべき内容が多かったと思います。</li> <li>・考える時間は少なかったと思いますが、一般常識は True Japan で講座を受けたお陰で想像以上にスムーズに解けました。先生の講座が大変役に立ちました。</li> <li>・今年は、受験者に対して優しい問題が多かった印象です（読み切れないほどの文もない、常識から判断すれば正解にたどりつけるなど）。</li> <li>・去年に比べて簡単だったと思います。ただ空港の CIQ とは何か？という問題があったかと思います。私は観光白書を隅から隅まで熟読していたので解答出来ました。CIQ の解説は本文欄外の※で解説あっただけです。こういうよほどチェックしてないと答えられない問題もどうかと思います。もっとウイズコロナ時代の観光のあるべき姿など、本質的な出題があっただけかと思えます。</li> <li>・思ったほど観光白書から出題されていなかったのは、驚きでした。ただ、よく知られているようなニュースから出題されていたのはありがたかったです。</li> <li>・時間が足りません。鼻炎のある私は試験中にくしゃみを一度しましたが、くしゃみをする時間も惜しかったです。応用問題が多く、文章を読み込む問題が全てでしたが、文章問題より表の方が速く解けます。どれだけ時間が足りないか、観光庁職員の方に経験していただきたいです。</li> <li>・受験年度によって難易度がだいぶちがう感じがする。</li> <li>・受験要項に記載されている出題範囲・内容から逸脱した出題傾向が常態化していると感じている。このような出題傾向が今後も継続されるのであれば、受験要項の記載内容を改めるべきだと感じている。</li> </ul>

	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出題範囲が広すぎるが対策講座で学んだ内容から関連する出題がいくつかあり、助かった。</li> <li>・ 出題予想が一番しにくい教科だと思う。今回は比較的解答しやすかった。</li> <li>・ 政治部分は出ないのであれば、範囲から外していただきたいです。</li> <li>・ 直近の観光白書から出題されたり、それ以前の白書から出題されたりで、初回受験者には大変です。</li> <li>・ 日本が抱える問題など、もっと幅広に出題されても良いのではないかと思う。択一式なら問題数が増えても構わないと考える。</li> <li>・ 勉強しませんでした。自己採点では 30 点でした。</li> <li>・ 問題数が少ないのに観光白書数年分及びその他一般的な知識と勉強範囲が広すぎる。観光白書から 6 割、文化から 2 割、時事問題 2 割など、もう少し具体的な範囲を設定するか、または同じような範囲設定で継続するなら、もっと問題数を増やしてほしい。範囲があまり具体的ではない上に、1 問の配点が大きいので『勉強しても運次第』という意識になり、モチベーションが上がりにくい。国家試験として受けるという意味では、基準がわかりにくい。</li> <li>・ 問題数が少なすぎて、たまたま知っているかどうかの運の要素が大きすぎると感じます。</li> <li>・ 問題数が多いというより、問題文が不必要に長すぎて不適切。より簡潔な文章にして問題数を増やしてもよいかもしれません。</li> <li>・ 問題数の割には時間が 20 分と短くて、早押しクイズのようだった。</li> <li>・ 問題範囲が不明瞭。必要性を感じません。</li> <li>・ 予想問題の範囲だったので、安心して解けました。</li> </ul>



	自由記載
通訳案内の実務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考察時間が足りないと感じました。後述しますが、一度1次試験に合格したら、ずっと免除すべきだと考えます。ただし、案内士合格後に研修を実施し、案内士合格と同じ年度の科目合格者は、案内士合格後の研修を必修とする、と制度を改めるべきと考えます。</li>   <li>・18問になっていたので少し余裕がありました。勉強したつもりでしたが、法律上の細かなところで間違えてしまいました。この知識がどう役立っていくのかわかりにくい問題もありました。</li>   <li>・CELの講義により47点/50を取得できました。</li>   <li>・TJS実務講座を受講しました。1問ミスのみで47点でした。</li>   <li>・こちらも2回合格しているので、適切な問題であったと思う。</li>   <li>・ほとんどの問題の選択肢文が長すぎて、考える時間がとても少なかった。</li>   <li>・マークシート用紙の枠が小さすぎて鉛筆で塗りつぶしたが正確に反映されているか不安だった。枠が薄いので見分けるのが大変だった。</li>   <li>・回答選択肢の文章が長すぎるものが多い、解答時間が足らなくなる。簡単であった。</li>   <li>・基本的には、研修テキストを読み込んでいれば難なく解ける問題で、一番傾向にブレがない科目だと思います。年々選択肢の文章が長くなり、解答に時間がかかるのが苦勞する点です。</li>   <li>・去年の問題の焼き直しが多かった。</li>   <li>・極論を書いてある選択肢が複数あったので、やりやすかった。</li>   <li>・決して簡単ではありませんでしたが、こちらも意地の悪い出題はなかったと思います。</li>   <li>・今まで何回か受験した中では問題の長さも適切だったと思うし、緊急対応など実践に則した問題など通訳案内士として必要な知識が問われていたのではない</li> </ul>

	自由記載
	<p>かと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回、急に難化したと感じました。</li> <li>・最初の、試験のときは、ほとんど勉強しないで、常識に、照らし合わせて、回答したら、合格した。最近では、重箱のすみをつつくような、細かい問題ばかりで、以前合格した人たちと、乖離してしまうとおもう。こんな細かい問題は、合格してから、実地で、修得すれば、いいこと。また、二次の面接でも、プレゼンの、範囲が、広すぎ、通訳も、こんなに、長文をやくすなんて、プロの、通訳に、なってしまう。以前合格した人は、そのような、能力求められていません。同じ通訳案内士でも、実力の、差が、大きくなってしまいます。問題が、複雑化して、傾向が、つかめなければ、受験者も、減ると、思う。増して、資格持っていないくてもお金が、貰えるので、現役の通訳案内士のひとが、競争が、激化して、お客様取られたと言っていました。</li> <li>・細かいところを聞く問題で、しっかり勉強しないといけないよという問題作成者のメッセージを受け取ったような気がした。</li> <li>・昨年は自己採点 27 点で不合格でした。本格的に対策をスタートしたのは 3 月から、三修社の参考書と観光庁テキストを読み込み、そして通訳案内士法と旅行業法をプリントアウトしてファイルに綴じて、内容を理解できるまで隅々までしつこく読み込みました。実務も計 3 回、模擬試験を受験しました。解答時間わずか 20 分という超過酷な試験に対応するためには模試を活用して時間感覚を掴むことと、どんな状況でも焦らず落ち着いて試験に取り組めるメンタルの強化が必要不可欠だと実感しました。おかげさまで今年の実務は自己採点で満点でした。</li> <li>・時間が足りません。鼻炎のある私は試験中にくしゃみを一度しましたが、くしゃみをする時間も惜しかったです。応用問題が多く、文章を読み込む問題が全てでしたが、文章問題より表の方が速く解けます。</li> <li>・実務に関しては、教科書を読むことも重要であるが、こういう場合、正しい処置の仕方はいくつかを、問いかける問題が多かった。宗教関連では、イスラム教とユダヤ教の違いや習慣を覚えておけば、十分と感じた。</li> <li>・実務に関しては、問題文の量が多すぎる、或いは解答時間が少なすぎると思います。他の科目では一通り問題を解き終えてから、余裕を持ってすべての解答を</li> </ul>

	自由記載
	<p>見返す時間がありましたが、実務に関しては十分な時間がありませんでした。一気に問題文を読み進める能力ではなく、じっくりと問題文（通訳案内士として実務にあたっている際の様々なシチュエーション）を読んだ上で、何が正解かを問うべきだと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実務は、冒頭にマニアックな法律の文面の問題があり、そこでかなり時間を取られました。最後でかつ読む量が多く、かなり手強かったです。この科目は年々難しさを増しているのも、あまり公平ではないなとかんじます。もっと通訳案内士として知っておくべき実用的な知識を問う内容にして方が良いと思います。</li> <li>・初め数問の問題が難しく、時間配分を間違えた。（自分の責任ですが）</li> <li>・設問の表現をわざと回りくどく分かりにくくしているのではと感じる。</li> <li>・選択肢の内容文が長いので、もう少し考える時間がほしい。</li> <li>・通訳案内の実務も True Japan で講座を受けたお陰でスムーズに解けました。ただ、考える時間は少ないと思いました。</li> <li>・通訳案内士法に限らず、旅行業法など関連法令の知識を問われるような問題が数多く出ていたので、難しく感じた。</li> <li>・添乗員に求められる知識も必要なのは理解しますが案内士の試験としてはどうか、添乗員試験でいいのではと感じた問題が数問ありました。</li> <li>・添乗業務をしていたので唯一自信を持って受けられた科目でした。</li> <li>・特別な勉強はしていませんが合格まであと3点だったので来年に期待したいと思います。</li> <li>・非常にトリッキーな問題がおおく、判断に時間がかかった。</li> <li>・文章が多すぎて時間が短いのでバランスを検討してほしい</li> <li>・法律の長い文章の間違い探しが増えている。実際の実務とかけ離れる傾向であると思う。</li> </ul>

	自由記載
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冒頭3問くらい連続で難しくつまづいたため、試験時間が20分しかないのでかなり焦りました。</li> <li>・問題の日本語自体が難解。本来の内容を問う問題ではなく、ガイドとしての知識や姿勢を問う問題にして欲しい。これも落とすための試験ではなく、ガイドにふさわしい能力を持った人物を引き上げる試験内容にして欲しい。"</li> <li>・問題の文字数が多くて、混乱させる様につくられているとおもう。</li> <li>・問題を読むだけでも時間がかかり、しかも引っ掛け問題が多いので、20分では早押しクイズのような感じである。</li> <li>・問題を読むというよりはキーワードに反応して回答するようである時間があまり持てなかった印象がありました。</li> <li>・問題数が18に減ったのはありがたい。ただ、内容は、よく考えればわかるものが多いのですが、問題文が長いように思える。</li> <li>・問題数が少なすぎて、たまたま知っているかどうかの運の要素が大きすぎると感じます。</li> <li>・問題数が多いというより、問題文が不必要に長すぎて不適切。より簡潔な文章にして問題数を増やしてもよいかもしれません。</li> <li>・問題数というよりも、設問に対する回答の文章が長すぎて、時間内に読んで回答するには時間が足りなかった。実務の試験は、ガイドとしての良識を問うものだと思うので、良問を望みます。</li> <li>・問題数もそうだが問題文及び選択肢の文が長い。ひっかけ目的のような出題でよく読まないといけないのに、一瞬でも考えると時間が足りなくなる。受験時間と問題数、問題の出し方（長さ）のバランスを整えてほしい。</li> <li>・問題文及び選択肢の文章量が多すぎて20分はあまりに短い。今回の文章量では30分は必要です。今回の問題の難易度からすると合格点5割が適切と思う。</li> </ul>

	自由記載
	・僭越ながら、妥当な内容だったと思います。

**質問4**：全国通訳案内士試験の現在の受験料について

1. 近年、受験料は一律 **11,700 円**が維持されております。一方、**2018 年**の法改正による業務独占規制の廃止（無資格での有償ガイドが可能）、**2019 年以降**のコロナ禍の影響による受験者数の減少に伴い、採算性が低下し、実施困難な状況の中での試験開催となっております。これについて、プルダウンメニューの選択肢より当てはまるものをお選び下さい。（複数選択可）

**【選択肢】**

- ① 現在の受験料（11,700 円）は適正である。
- ② 現在の受験料は高いと感じる。
- ③ 現在の受験料は安いと感じる。
- ④ 受験科目数によって受験料を変更してほしい。
- ⑤ 受験料を高くしても良いので現在の受験地数の維持、拡大をしてほしい。
- ⑥ 受験料を高くしても良いので前年度 1 部（5 科目）合格科目免除の期間を延ばしてほしい。
- ⑦ 受験料を高くしても良いので制度改正も含め、有資格ガイドの活躍の場を増やしてほしい。
- ⑧ 英語以外の外国語など、受験科目数を減らすなどして受験料を維持（値下げ）してほしい。

質問 4							
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
45	98	0	63	73	71	69	52

## 2. 選択肢以外の感想・ご意見などございましたら自由記載欄にお書きください。

### 自由記載

- ・2012年~2017年の二次試験合格率と2018年以降の合格率にかなり開きがあり、不公平を感じる。
- ・TOEIC900点以上への評価が低いのではないだろうか？
- ・TOEIC免除の期間を伸ばしてほしい。基準点を少し下げしてほしい。
- ・ガイド試験を残しつつ規制廃止した政策の失敗だと思う。再度何らかの制限を設けて資格の価値を高めるのがよいと思う。
- ・これだけの勉強量をこなし、安くない学費と試験料を支払っての資格試験なのだから、資格所持者と無所持者の差別化をきちんと図ってほしいです。
- ・どうして、こんなに受験料が高いのか。受験料の内分け(例、問題作成依頼料の金額、通信費、事務作業等の人件費など)を明らかにしてほしい。ほとんど、そんなことはできません、と言われて終わり、となりそうなのは、わかっていますが、アンケートなので、思いついたことは、書いておきます。
- ・以前は、8,000円くらい、だったと思う。委託してから、大幅に値上がりした。委託やめて、元に戻してほしいです。
- ・一次試験合格して二次試験に落ちた場合は、翌年は二次試験だけの受験にして欲しい。
- ・個人的な問題ではありますが、仕事をしながらの受験は限られた中で成果を出さなければならず、一部合格科目が翌年度のみ免除では正直大変な部分があります。このままでは、他の資格を取得して免除資格を得て、本試験を受けない受験者が増える一方だと思います。受験者を増やす意味でも、合格科目の免除は一年ではなくもう少し伸ばしていただきたいです。
- ・合格した科目の免除について期間を延長してほしい。せめてあと1年。また、2次試験の挑戦を2度まで可というふうにしてほしい。
- ・合格した科目の有効期間を3年から5年にしてほしい。(5科目あるから、5年)毎年、難易度も違おうし、意表を突いた問題が出題されるので、5科目合格するのは、至難だから、有効期間の延期を願います！宜しくお願い致します。

・合格科目免除期間延長はとても願います。それで何度も挑戦することに。自分の力不足は理解していますが上の選択肢にもあったのでここでもう一度お願いしています。無資格での有償ガイド可能になったことで「受験する必要ないのでは」と何度も思います。なので有資格後、無資格の差があればやる気も上がります。給料や有資格のみできる仕事など。

・合格率がもう少し上がるといいかなと思います。

・今より受験料を上げないで欲しいです。

・今年の試験官は、まともであったが、去年は、残り 30 分なのに、残り 15 分です、と試験中に言ったり(はっきり言って妨害行為)、答案用紙を配るのが 1 分遅かったり対応が最悪だった。

・試験の回数を年 3 回 (英検並み) に増やして欲しい。

・試験時間が短くなって「途中退室」のアナウンスがなくなったのは助かりました。「名前を忘れずに」のアナウンスも要らないと思います。試験中は試験に集中したいと思います。試験と試験のあいだに 2 時間の間があったのですが、待機室があればいいのにと思いました。周りに喫茶店もなくて困りました。

・受験料に関しては、試験実施にあたってどれだけのコストがかかっているのか分からないので、適正価格であるのかどうか、判断のしようがありません。受験生からのアンケート結果ではなく、かかっている試験実施経費に基づいて受験料を決めるべきだと思います。

・受験料はあげて欲しくないですが、5 科目合格して 2 次試験がダメだった場合、翌年は 1 次試験を全科目免除してほしいです。

・受験料以外にも合格する為の勉強代(専門学校での受講料など)何十万円と免許取得に費用が嵩みます。せめて、1 次が受かった場合の 2 次の受験資格は無期限(せめて 3 年間有効にして欲しいです!) 日本経済の支えになる観光事業にお金と時間をかけて頑張っていることを考慮頂き少しでも負担を軽減して頂きたいです!"

・出題傾向を一定にする。難問や奇問をできるだけ減らす。常識的な知識にフォーカスする。日本史も歴史も範囲は広いので常識的な範囲でも十分差はつくと思います。難問や奇問では本当の実力を反映しにくい。

・出来れば、受験料は科目数によって異なる方が良いが、混乱をきたすのなら、少なくとも 2 次試験だけ受ける場合には別料金だといいたいです。



・全科目合格が必須では、科目ごとに配点を変える意味が分かりません。全科目の配点を同じにするか、合計点で合否判定をする方が公平だと思います。

・値段については、妥当かと思います。試験の内容の適正なレベルを維持するためには値上げもやむを得ないかもしれません。施設面では、今年は、会場の座席が小学校の机と椅子のようで、酷かったので、ある程度のレベルの会場を用意していただけるのであれば値上げに反対ではありません。

・二次試験の再チャレンジの時の受験料は一次試験からの時と同額ではなく、考慮してほしい。

・日大法学部キャンパスで受けたが、運営方法が悪い。始まるまで休憩中教室の一部だけを暗くしていたが、席で勉強できなかった。座席によって平等な環境にしないのは不公平であるから止めるべき。また、免除科目が同じ人をなぜ同じ部屋にまとめないのか？そういう年もあった。請負会社が変わるとやり方が大きく変わり不信感である。前回の請負のやり方は免除科目が同じ人で部屋が分かれていたので、受験しやすく受験者思いだった。今回のやり方だと、同じ注意事項かを毎回試験の冒頭で早口で言っているだけで耳障りで時間の無駄。今の請負会社は、運営方法を多々精査すべきである。

・年2回の開催があれば良いと思います。

・邦文4科目は、合格したら永久合格とすべきである。一年の免除期間があるが、何か1科目を落としたら再受験を強いられ、まるで賽の河原の石積み擬きである。邦文科目は合格永久制として語学問題を真に通訳案内が出来る内容に変更すべきだと思う。大問4で日本事象が出ているがその内容に関するものを大問1,2に反映するように改革が必要である。

・名古屋での試験の開催は継続してほしい。2次会場にも検討いただきたい。人口が多い名古屋圏は受験者数確保にも役立つと思われる。

・免除期間が1年は短いと思う。いっぺんに5科目合格するのは至難の業であり、受験者数が増えない原因でもある。

・問題の質が悪く（出題傾向が不定）受験者のやる気を損なってきた感は否めません。出題傾向の一定化を達成できれば二次試験で通訳実技を問うなどこんなに有益な試験はないと思います。

**質問5**：全国通訳案内士試験の支払い可能な受験料上限について

1. 全国通訳案内士試験の受験料として支払い可能な金額の上限をプルダウンメニューの選択肢より一つお選びください。

【選択肢】

- ① 10,000 円以下（自由記載欄に支払い可能な金額の上限をご記入ください。）
- ② 11,000 円
- ③ 12,000 円
- ④ 13,000 円
- ⑤ 14,000 円
- ⑥ 15,000 円
- ⑦ 16,000 円以上（自由記載欄に支払い可能な金額の上限をご記入ください。）

質問5						
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
42	25	36	13	2	28	5

2. 選択肢以外の感想・ご意見などございましたら自由記載欄にお書きください。

自由記載
<ul style="list-style-type: none"><li>・科目ごとの料金を決め、受験する科目数に応じて支払う、というのが合理的と考えます。</li><li>・語学のみは¥5,000、他は1科目¥3,000 くらいとし、受験する科目分を払う、というのはいかがでしょうか。</li><li>・7000 円ぐらいまでにして門戸を開いて欲しい。</li><li>・高すぎて受ける気がなくなる。</li><li>・あまり安くすると、試験そのものを実施できません、と言われるのはわかりませんが、理想的には、5 千円をお願いしたい。この試験は、国家試験なので国が、インバウンドの観光客を増やして国家財政をうるおしたいと思うなら、(案内士の数を増やす、そのために、受験者数を増やすために)受験料を安くしてほしい。足りない分は、国から補助金を出すべきである。</li></ul>

・一科目 2,000 円

・一次試験のみ年に 3 回受けられるようにする。問題はプールし CBT 形式でパソコン受験。二次は年一回でも良い。年に一回である問題ではキツイ。

・金額によらず受かるまでトライしていきたいと思います。

・高額な試験料を必要とするのは、二次試験のためだろうが、一次試験の通過率が低いので、実際に人件費はそれほどかかっていると思う。

・合格基準と免除規定を緩くして、研修をもっと充実させて、優れた適性を持ちながら合格できていない人たちへの福音、合格後にもっと高みに到達できるシステムづくりを試みていただきたいです。

・質の高いガイドを作るためには、お金のある人だけが受験できるシステムを検討して欲しいです。例えば就労 1 年で試験料を一定料返却するなどのシステムにしてもいいがしれません。

・受験科目数で受験料を変え、二次試験のみの時はそこも考慮頂きたい。

・上限 2 万円

・全教科受験で 9000 円前後が希望です。難しい場合は、受験科目によって料金を変化させていただければ有難いです。

・通訳案内士として働いていきたいと考えているため、十万円程度までなら躊躇なく支払います。ただし、受験料を増額するなら、何にどれだけの費用がかかっているのか、情報を開示すべきだと思います。

・通訳案内士の需要のない試験になんでこれだけの費用がかかるのか不思議である。一科目 2 0 0 0 円程度が妥当。

・外国語、歴史・地理、一般常識と通訳実務の 3 科目で 6 0 0 0 円程度が妥当！

・六千円

**質問6**：前年度1部（5科目）合格科目免除の期間について

1. 現在、合格科目の免除は次年度のみ有効となっています。これについて、選択肢より当てはまるものを一つお選び下さい。

- ① 現在の免除期間1年（次年度のみ有効）で十分である。
- ② 免除期間を2年に延長すべきである。
- ③ 免除期間を3年に延長すべきである。
- ④ 免除期間を4年に延長すべきである
- ⑤ 免除期間を無期限とすべきである。
- ⑥ 免除の必要はない。

質問6					
①	②	③	④	⑤	⑥
20	61	32	5	30	1

2. 選択肢以外の感想・ご意見などございましたら自由記載欄にお書きください。

自由記載
<p>・コロナ禍の時代のように、非常事態がままありますので、2年に延長しても良いのではないかと思います。</p> <p>・語学の免除期間、該当試験合格者の免除期間は原則すべて無期限としてほしい。〔英語なら、実用英語検定1級だけでなく TOEIC も一定スコア以上なら無期限免除とする、など検討願います。〕</p> <p>・2次試験で不合格になった場合の次年度の1次試験前科目免除について。センター試験免除など免除科目がある場合も認めてほしい。2次試験のみのチャンスが2回欲しいです。</p> <p>・3年を選んだが、できれば5年あると挑戦しやすい。</p> <p>・いずれの科目も一度きちんと勉強したら一定程度の知識は定着するはずであり、実際に働く際には再度勉強し直すでしょうから、一度合格すればその後は免除が良いと思います。</p> <p>・センター試験が5年であることの整合性がない。</p>

・たしかに私自身、何度もチャレンジする中で学習を重ね、知識もついてきていると思いますが、やる気が萎えて受験をやめようかと思う時も無きにしも非ずです。多くの方がこれで引っ掛かり、諦めていると思います。

・一次の五科目筆記試験に合格するのに数年かかる人が多いこの試験で、やっと二次試験に進んだと思ったら半分以下が落とされる、という現状はおかしいと思います。2次試験で本来のガイドの資質を問うならば一次試験はこんなにハードル上げなくてもいいと思うし、一次試験突破した人には、全科目筆記は免除して次年度は2次試験から再挑戦する形にした方が、1年間ガイド実務に即した勉強に集中できて、質の良いガイドになると思います。

・永久免除としてセンター試験の免除を取りましたが、突如5年に変更されたことに失望しました。免除取得時の条件は守って頂きたいです。今からでも復活させて頂けないでしょうか。

・英検1級等、他の科目で一部が免除期間無制限があるのと比べると合格科目1年の免除は何故かと疑問に思う。またある語学の通訳案内士が他の語学で受験する際は社会科目がすべて免除というのも理にかなっていない。そうであるならば科目合格は免除期間無制限にするべき。

・英検や歴史検定等での合格による免除は無期限であるのに、全国通訳案内士での試験やTOEICでは有期限なのは不公平に思います。

・科目が多く、特に、歴史、地理は、長時間勉強が、必要なのに、免除期間が、短すぎる。合格点を取れた科目は、免除して欲しい。2次試験、2度、受験する機会があったが、失敗すると、また1次試験から、やり直せねばならず、まだらに合格点を取ると、何年たっても、合格できない。あきらめて、受験しなくなる人も、多いと思う。

・外国語以外は、各科目免除条件の難易度と比較しても一回合格すれば良い。

・今回受験科目が不合格の場合、前年で合格となった免除科目が翌年の受験で失効してしまう。免除科目があっても受験料を一定とするのであれば、免除科目も受検可とし、仮に免除科目が不合格であっても前回の合格結果を適用される、もしくは免除科目が合格で受験科目が不合格の場合、翌年の受験での失効が防げるなど、チャンスが広がるのではと思う。

・昨年日程が変わり、仕事の都合で受験できなかった。一昨年4科目合格していたが、今年すべて受け直した。

・仕事をしながらの受験では1年だけの免除期間では受験し続けられない。

・私の場合、去年語学語・ポルトガル語に合格しました。今年は「一般常識」と「通訳案内の実務」の

合格可能性が高いと思いますが歴史と地理はダメだと思います。来年もトライ（3回目）する予定です。去年免除されている外国語（ポルトガル語）を延長して欲しいという希望があります。理由は、ブラジルで生まれ育ちましたため、また既にポルトガル語を使用してガイドを行っておりますので、次回も免除していただきたいと思います。

・試験勉強を通して、苦手だった(無知だった)日本歴史を克服することができました。日本の歴史を正しく理解し、深く知ると共に歴史に名を残す偉大な日本人を誇りに思います。又、どれだけ世界に対して日本が偉大だったかということと共に、これまでの日本を支えてきた日本人に感謝をします。素晴らしい日本の文化やその起源を学べて本当によかったです。

・通訳案内士に必要とされるものは、机上の知識だけではないと考えます。ペーパーテストが得意な方もいれば、対面の試験が得意な方もいると思います。せっかく能力を持っていても、いつまでも面接に臨めなければ、せっかくの貴重な人材を失うことにもなるかと思えます。

・特に英語など出題傾向が年ごとに変わるようでしたら、その時の運、不運で合格が大変左右されると思います。免除は1年では厳しいと思いました。今後、その年はどうしても受験できないという事情も出て来た場合、2年に延長できる特別配慮も設けて頂けると助かります。"年により難易度が違い、不公平感がある。

・毎年、いくつかの科目が受かっても、2年以内に全ての科目が通らないとまたスタート地点に戻ってしまいます。一度及第点を取ったのなら、もう少し柔軟な制度だったら、通らなかった科目の試験勉強に集中出来ると思います。

・無期限でないともぐらたたき状態が続いてモチベーションも下がる。1年に一度の試験に合わせて準備するので調整が大変である。"

・免除可能な試験を増やしてほしい。

・免除期間が2年は短すぎる。珍問の試験なんだから、とにかく免除は長くしてほしい。この資格が普及され、日本ガイドの質をあげる目的につなげてほしい。そうすれば、受験も増えると思う。

・免除期間の延長によって、受験者が増えると思います。

・免除期間を2年に延ばすことで、一度の不合格であきらめた人がもう一度挑戦する気になるかもしれない。ただしそれ以上免除期間が延びると、知識のばらつきにつながる可能性がある。

質問7：今後の試験（制度）について

今後の全国通訳案内士試験をより良いものとし、受験者数を増やしていくためのご意見などございましたら以下の欄に自由にお書きください。

自由記載

・①他の国家資格・具体的には税理士試験のように、一度合格した科目は、無期限免除とすることを検討したい。ただし、法令改正・制度改正の影響を受ける科目とし、通訳案内士試験合格後に研修受講を必修とするなど制度変更を検討したい。具体的には「一般常識」「通訳案内の実務」の2科目が、該当すると思います。通訳案内士試験、例えば前の年度に一般常識、地理以外合格、翌年度試験も一般常識不合格、3年目は一般常識合格したのに、また地理不合格——など、1科目のために合格できない方が多数います。例として税理士試験をあげましたが、法令によっては3年程度で法改正され、試験のたびに覚える内容が変わってしまいかねません。通訳案内士試験で、それに該当しそうなのは、法令や制度の出題が絡む「一般常識」「通訳案内の実務」の2科目と思います。この2科目については、一度合格したら、案内士試験最終合格まで科目試験は免除とし、案内士試験最終合格したのち、その2科目の研修を必修として、科目合格後の法令改正・制度変更をきちんと理解してもらう——とされてみてはいかがでしょうか。〔地理・歴史は、数年で内容が変わるようなことはないと思いますので、無期限免除の必要性は薄いように思います。〕国家試験である税理士試験ですでに実施されているのですから、できないことではないと思います。ぜひ検討願います。②語学の選択科目に「トルコ語」「インドネシア語」の追加を検討願います。ここ数年は訪日観光客が極めて少なめですが、例年ならトルコ、インドネシアからの訪日者は多数あり、しかも親日的です。ぜひ語学科目に新設してください。③上記とも関連しますが、ムスリムの習慣に精通した案内士の資格の制度化を検討願います。通訳案内士試験合格後に、研修を受講させて一定の理解ができた案内士に「資格」を付加する、ということも検討願います。

・①時計持参で終了10分前のアナウンスは不要です。②机が狭く筆記用具の上に問題用紙を広げて解答しました。

・2020年よりコロナ禍になり、観光業界も大打撃を受けて、特に通訳案内士は多くの方が失業か転職したと聞いています。2018年に法改正した「無資格での有償ガイドが可能」は、今後は「有資格者のみが有償ガイド可能」になったら良いと思います。そうでないと、せっかく取った意味が無くなってしまいます。そして、インバウンドの観光客が多く来ていた年代は、合格点よりも随分下回っていても、実際に調整されて合格した人を見ました。しかし、昨今では試験の難易度の差も激しく、国家試験であるなら、いつ受けても公平性のある試験であることを切に願っております。

・2次試験の合否判定の根拠についての明確な情報の公開を希望します。

・5年以上受験し続けている受験生には熱意を酌んで1割くらいは加点（ゲタ）してください。やる気のある案内士になると思いますよ。

・お盆のすぐ後の時期に試験日が設定されているため、日程が見直されるといいと思います。ガイドとしての質の向上をテストする際に、ペーパーテストが難解で知識偏重にならないようお願いいたします。人間性重視の上では、面接試験に重点が置かれることと思っています。

・どの分野もそうだと思いますが、努力してその試験に受かることのメリットが十分有れば受験者は増えていくと思います。

・ホスピタリティとホスピタリティ英語力を求めるなら、地理・日本史の知識は、日本を案内する上で不可欠だと思います。過去問をやり、つくづく年度により、難易度落差が大きいと思います。一次試験の地理日本史の難易度を固定してあげるべきだと思います。何故なら、2次試験は運不運があるからです。完全にフェアな一次試験で、良いガイドになるべく勉強した人を評価すべきです。また難易度の高い一次試験後は、免除期間を延ばし、ガイド通訳に必要な英語学習期間を延長すべきです。

・マークシート（解答用紙）の解答欄の数字が薄くて見にくかったです。受験会場の光の加減にもよりますが、薄いピンクに近い色はみにくく、解答欄の記載間違いにもつながるので、もう少し濃い色にして頂きたいです。

・まず通訳案内士が食べていくことができるように環境を整えることが必要。簡単に言うと現在は条件が悪い上に、報酬も少ない。

・もう少し合格者数を増やす

・一次二次試験共に全体的に問題レベルが高すぎます。通訳現場の実態とかけ離れています。これでは通訳案内士になりたいけど難しすぎて辞める人は増える一方でしょう。また、一旦合格したら以降はレベルは問われずだったり、英検一級合格は時期を問わずなど（数十年前の英件のレベルは現在より遥かに低い）、あまり意味がないハードル設定だと思います。一次二次試験のハードルを下げて、合格後も定期的に能力検定試験を実施した方が良いと思います。

・一年に一度しかチャンスがないのであれば、免除期間を長くしてほしいし、二度程度あるのであれば、2年間とかでもよい。現行の一年は何かで失敗すると、延々と二次に行けないので、受験自体の意欲も削がれる。

・引っ掛け問題など本質的でない問題を出すのはやめて欲しい。通訳案内士は何を目指す試験ですか？訪問メニューの魅力度アップなど、需要を増やす努力をすべき。既存の通訳案内士で今は需要が足りているはず。



- ・可能であれば、せめて5分考える時間を延ばして欲しいです。
- ・外国語以外の問題範囲が広すぎ。もう少し明確にして欲しい。
- ・各教科は非常な難関試験でないが、実務に必要な広い知識を問うという現行の方向で会っていると思う。大変かもしれないが資格維持を考えてほしい。
- ・現在は、一握りのトップガイド以外の有資格者と無資格者の実際の違いは名前だけの状況。有資格者を優先する何らかの特典や収入面での差別化など、目に見える違いを提示していかなければ、なかなか受験者の数は増えないかもしれない。
- ・公式問題集の発行 過去問の公開 独自のホームページを作り英検やTOEICのように親しみやすくする。合格体験記を載せる。通訳案内士で活躍している人に経験談を投稿してもらおう。
- ・広報を行う。国内唯一の国家資格であることを強調する。2次試験の質が一次に比べてとても良いのもったいない。一次を優しくて2次の合格基準を上げれば質の高い通訳案内士がセレクトできるのではないのでしょうか？
- ・合格点を下げることと、年2回開催してほしい。
- ・合格率を上げて頂きたいです(特に二次試験)
- ・国家資格であり、資格を有した後の活動などもっと発信していったら如何でしょうか。大変ですが、自分の世界が広がり大変楽しく勉強しています。今後も頑張ります。"
- ・今後、インバウンドが増加していくことを考慮すると、国のサポートも含めて、通訳ガイドの待遇面をアップして魅力的な仕事だというイメージアップをしたほうがよいような気がします。
- ・今年はなかったが、去年は絶対に違いと異論を言いたくなる答えを正解にしていた。また、英語は、スペルミスが去年も今年もあった。
- ・私は時々海外の方と接する機会があります。試験そのものは、日本人の自分が自国について知るという意味で、挑みがいがあると思って勉強を続けています。しかし実際のところ、海外の旅行者が求めている情報と、試験に出題される問題の情報は、一致していない場合があるように感じます。
- ・試験は決して易しいとは言えません。もう少し知名度を上げ、意味のある資格にしてください。PRが必要です！

- ・試験を年2回行ってほしい。一次試験が8月の猛暑時期、お盆時期なので、かなりきつい。
- ・試験科目が多いことと前年度一部免除の期間がたった1年であることが全国通訳案内士を目指す人にとって大きな障壁となっていることは間違いないとわたしは断言します。これらの問題点が改善されれば受験者数は飛躍的に増加し、全国通訳案内士が憧れの職業として若い世代にも認知されることでしょう。
- ・試験会場を検討して欲しい。東京近郊となっているが、自分は都心の外れに住んでおり、足も悪く歩くのも大変なので考慮して頂きたい。それと試験を年2回にしてほしい。"
- ・試験中遅刻した人は別室案内してほしい。遅れた人への説明や息切れなどがうるさく集中力が損なわれる。そもそも遅刻した人は受験できないのは当然なのでオペレーションをきちんとしてほしい。
- ・試験要項と実際の出題に乖離があると感じられます。実際の出題にあったより詳細な試験要項を公表していただければと思います。
- ・資格を取ったからといって、仕事があるかどうかわからない。そんな資格を誰が取るのか？私は別に定職があり、趣味で受験しているので良いが、実際どんな人が受験しているのか？何のために受験者を増やしたいのか？
- ・資格持たない人は、有料の、案内は、出来ないように、しないと、資格取っても、仕事が、成立しないと思う。また、英語に、関しては、レベル高くするのは、理解できるが、その他の、教科、一貫性が、なく、受験者は、振り回されます。レベル一定に、してほしいです。
- ・質の高いガイドを作るためには、お金のある人だけが受験できるシステムを検討して欲しいです。例えば就労1年で試験料を一定料返却するなどのシステムにしてもいいがしれません。
- ・質の良い問題を吟味していただきたい。本年の英語・地理は良問だったように思う。落とす試験ではなく、通訳ガイドとして必要となる知識を問う良識ある問題を望みます。
- ・社会科が今の問題のレベル（結構奇問、難問が存在）を続けるなら、合格点を以前と同じく（地理、歴史）60点とすべき。あるいは70点の合格点を維持するなら奇問的な出題を避け、基本的でオーソドックスな問題を多くし、できるだけ多くの外国語有能力者が2次試験に進めるようにすべき。私はドイツ語能力には自信があるのに、1次試験で落ち続け、独語能力を試験で発揮する機会を長年奪われ続けている。これは日本の将来の観光業の発展に大きなマイナスと感じている。
- ・受け入れ体制は特に変わってないので合格率が上がってれば自然と増えると思います。

・受験の機会を年に2回にしてほしい。

・受験の案内、申し込みや結果の通知等は、ネット以外に、以前のように、郵送でも(ネットと併用するという。当然、切手代は、かかってくるが)行ってほしい。(年配の人には、ITが苦手な人も多い)全問正解というのが出るのは、問題作成者としては、抵抗があるのはわかる。ただ、誰も知らないような、また、案内士としては必要のないような難問、奇問を出されることがある。(現在のやり方を踏襲するならば)問題作成者は、必ず、案内士を少なくとも、3年はやった人が担当するべきである。ただ知識があるだけの大学教授等が作るべきではない。難問、奇問を防ぎ、案内士としてふさわしい問題にするための、もっとよい方法は、試験で問われる事項について書いたテキストというものを作っておき、問題は、そこから出ます、ということにする。当然、案内士をやってきた人が、「実際に、仕事をするうえで必要なこと、そして、外国人からは、このような質問が出されますよ、ということなどを踏まえたものになる)合格点は、今のような70点ではなく、(この70点という合格点も年によって変更するので困るのだが)常に80点に設定しておく。テキストは、厚いものになるだろうがそれは、しかたがない。また、受験生にとっても、出題されるところが決まっていた方が、受験勉強に熱が入るといえる。ただ、案内士にとっては、知識よりも重要なことがある。それは、「おもてなしの心」である。それを、性格として持っているかどうかということである。(あえて知識に関して言うなら、仕事を始めて、足りない、わからないということが出てきた時に、それを積極的に、補う自己研修をどれだけやれるかということが大切である)「おもてなしの心」を性格として元々持ち合わせているかを見定めるのは大変だが、ベターな方法として、面接を重視するということがある。語学力をためすための面接ではない。個人面接以外に、集団面接を取り入れる。例えば、仕事上、生じた実際のトラブルの例を提示し、どのように解決したらよいか、自由に議論させるのである。また、模擬面接も有効である。実際に、外国人を案内する旅行に行ってもらって、終了した後に評価する。(コメントすることも忘れずにやる)ベストな方法は、半年なり、1年間を試用期間として働いてもらい、その働き方を見て、本採用にするということである。その試用期間の間、自分が、この仕事に向いているか否かを考える期間ともなるので、不合格になったとしても、自己認識が深まったということを決して悪いことではない。

・受験科目、難易度を考えると仕事を持ちながら、受験しようと考えている者にはハードルが高すぎる。そして、合格後も就職状況や収入が不安定なので若くて優秀な人材は集まりにくいのではないだろうか。

・受験科目数が多く、出題範囲が広くてかなり勉強時間が必要なので、学生カリタイア後の時間がある人でないと突破が難しい試験だと思う。免除システムの存在があまり知られていないようにも思うので、TOEICや英検の受験者がよく目にするようなメディアに広告を打つなど、もう少し積極的にやってみてもいいのではないかと思う。

・受験者の年齢層が高いので、もっと大学にアピールしたらどうでしょうか。あとは、外資系企業などで、社員が受かったら報奨金を出すように働きかけるとか。

・受験者を増やすというよりも、合格後の有資格者の収入増や仕事の活躍の場を広げてゆくことに取り組んでもらうのが有り難いです。

・受験者数が減るのは、採算ばかりを考えて、わざと一科目だけ合格点を取りにくくしたり、免除期間を1年だけにして、真剣に取り組んでいる受験者がやる気を失う方向性が問題だと思います。そのせいで、本当に実力ある受験者が脱落していったのを目の当たりにしてきました。とても残念なことだと思います。

・受験者数を増やすことの意義は何でしょうか？通訳案内士の需要が高まれば自然と受験者数は増えるでしょうし、需要が少なくなれば受験者数も減るでしょう。誰かが意図的に受験者数の増減をコントロールすべきではないと思います。仮に受験者数増加のために、コストがかかっても受験料を減額するなどという措置をとる場合は、国民の税金で不足分を補うということだと思いますので、断固反対します。

・受験者数を増やすためには、「魅力的な仕事を得られる」ということが大前提になると思います(待遇、給与面等)しかし現在、地域通訳案内士の活躍も見込めるので、全国通訳案内士は人材のクオリティー(知識、経験)を保つべきで地域通訳案内士との壁は国家試験なので厚く保つべきだと思います。観光大国のスペイン、フランスやイタリアを見習えばわかると思いますが、年間の訪問者数は日本よりはるかに多くの観光客を受け入れております。実際、(一般観光客を相手に)どこの国に観光に行っても通訳ガイドはlocalガイドでほぼまかなっています。in 空港から out 空港迄、移動も一緒についてくる事は滅多に有りません。(一部 会社のインセンティブ旅行やテクニカルビジット、国際行事に絡んでの団体はずっと同行すると思いますが…)

・受験者数を増やすためには、一度合格点を取れた科目は、永久免除して欲しい。共通テストの点を何年も、使えるのに、なぜ、そうしないのか？また、合格してからも、活かして、働ける場が、少ないと思う。公立小中学校の英語の講師などできれば、近所で、パートで、働ける、女性や高齢者もおおのではないか。

・受験者数を増やすための直接の意見ではありませんが、1次の試験官のモチベーションをもう少し高めていただければと思います。とてもやる気があるようには見えないので。

・受験料を下げる。受験回数を増やす。インバンドを回復させる。

・受験料を高くせずに、現在の受験地数を拡大してはいかがでしょうか。例えば、北陸地方、四国地方にも一ヶ所ずつ設置する等。

・初めての受験だったこともあるが、受験申し込み手続きが煩雑に感じた。合格科目の免除期間は現状で良いが、試験回数を年2回にして頂きたい。

・常識問題、通訳案内の実務であるが、時間をあと10分ふやし、問題量を増やしてもらいたい。あまりに短時間で勉強してきたことがいかされないことも多い。もしくは、この二科目なくして、筆記式にして、通訳案内士を何故めざすのかとか、エッセイをかかせるのはどうだろうか？

・先にも申し上げましたが、年度によって傾向や難易度がバラバラすぎます。そうなると正直、運の良し悪しとも言わざるを得ません。例えば、地理の免除ができる国内旅行業務取扱管理者も国家資格ですが、毎年の傾向や難易度は同等です。本来、資格試験はそうあるべきだと考えます。難易度や傾向にばらつきがある上、合格科目の免除が翌年だけでは、何年も受ける受験者も増えてしまうと思います。資格試験である以上、落とす試験ではないはずなので、改善を希望いたします。

・専門学校に高額の授業料を支払って勉強する以外、市販の参考書で勉強できる形式にしてほしい。

・全国通訳案内士試験合格後の現状がよいものであるとわかれば、少しは受検者が増えると思います。

・多くの受験生が口にしてのことですが、「一次試験の負の無限ループ」が問題かと思っています。「ああ、また〇〇の一科目がダメでまた来年だ…」「今年また一次試験がダメだったら、もう受験はあきらめる」もよく聞きます。それに加えて、二次試験が不合格だったら次の年はまた一次試験からやり直しもおかしいというか、受験料収益か…とってしまいます。私自身は諦めずに頑張ろうと思っていますが、例えば外国語を使ってお仕事されてこられたり、生活経験が豊富であるのに今の一次試験の方式で引っ掛かり、二次試験に進めず、もう諦めるということになっても仕方ないと思います。

今のままの方式では受験料収益は上がるかもしれませんが、コロナ後の観光状況を考えると世代交代もあるので、また急激な通訳案内士不足になりかねません。一次試験科目は合格したら一年だけではなく、それはもう免除で不合格の科目のみ合格すればよくして頂き、二次試験での合格重視にしてほしいです。そして一次試験はクリアしてるのだから、次の年も二次試験からの再チャレンジで良いのではないのでしょうか。ここは是非お願いしたいところです。受験スクールや各種団体の収益性なども考慮するならば、現状の新人研修や旅程管理者取得のための研修に加え、案内士試験合格後に「苦手分野の研修制度」などを設けて、それぞれの採算が取れるようにして、通訳案内士受験者には合格者が増えるように広く門戸を開いてほしいと思います。ポイントは・一次試験の合格科目は、無期限免除(無期限が無理ならせめて3年ぐらい)にしてほしい。・二次試験不合格による再チャレンジは絶対に二次試験から！その際は受験料も考慮頂きたい。・できれば受験料は科目数に合わせて。以上です。

負の無限ループ脱却！声が届きますように！

・大学入試共通テストを免除要件に入れてほしい（日本史、一般常識）

・知名度を上げる。

・珍問難問が減り、もっと実用的な問題が増えれば、通訳案内士の認知度があがり、ひいては日本の観光ガイドのレベルがあがる近道と信じている。

・通訳案内の実務は指定のテキストがあるため勉強しやすいです。他科目や2次試験は範囲が無限なため、どんなに分量が多くても構わないので教科書的なテキストを作成し、勉強しやすくすべきだと思います。知識も技能もマニュアル化した方が良いのではと思います。落とすための試験というのは時代錯誤だと思います。

・通訳案内士の地位向上。

・通訳案内士は知識よりもガイドとしての人物(おもてなしの心を持っているか、有事の際に臨機応変に対応できるか)の方が遥かに大切です。一次試験で超難解、奇問を出題してふさわしい人物を振り落とさないようにして頂きたい。

・特に地理と歴史については難易度が年によって違い、普通の勉強では合格点まで手が届かない。普通に受けるより、免除でセンター試験や旅行管理者試験で受けた方が対策がとれる。

・難易度の高い試験であるにも関わらず、資格取得後の仕事が確保されていないのは、問題だと思う。観光立国を目指すのであれば、有資格者の地位向上と待遇改善が必須だと思います。

・難関試験であるにも関わらず、資格取得後の活躍の場が限られているとの話を度々耳にします。また、今回のコロナ渦のような状況下であっても最低限の収入も保証されず、多くの有資格者が困難に直面しているとの報道もありました。受験生の多くは迷いや疑問を抱えつつ、勉強を続けているのではないのでしょうか。コロナ後の観光を背負うガイド資格として 是非、対策をお願いしたいです。

・難問珍問通訳案内士試験とよく聞くのですが、別の意味での難しさであれば、特別な試験というステータスが保持されると思います。やはり、憧れの資格です。

・二次試験の外国語訳で日本人試験官が日本文を読まれますが、録音したものを利用するなど、試験官による差のないようお願いできないでしょうか。試験官が読み間違えて部分的に読み直されたことがあり、修飾関係、文構造が混乱しました。(あっと声を上げて言い換えられました。おそらく1行飛ばして読み始め、すぐに間違いに気づき、戻ったものと思われまます。)やり直しのお願ひも、質問もできない状況で、大変悔しい思いをしました。

・日本で唯一の国家試験であり、積極的に公務員や団体職員採用の条件や、英語科目免除規定に採用すると良いと思います。例：英検1級やTOEIC900点と同等に扱う。

・年2回開催することで、次期的制約をなくすことで、受験者数が増えると思います。

・法改正により案内士単独資格は不要。旅行業務取扱管理者資格に追加して上位資格に出来ないか?"

・法律改正により、無資格でもガイドができるようになりました。それによって有資格ガイドの就業の機会が減っているのではないかと拝察します。有資格ガイドの就業の機会を拡大してほしいと思います。

・邦文科目を撤廃することは不必要だが、永久合格制とし、英語問題をもっと日本観光や日本文化、習慣に絞ったものにすれば通訳案内士試験合格者は確実に増える。

・本当に通訳案内士に必要な知識を問う問題にしてほしい。年度によって難易度に差があったり出題傾向が変わったりするのも、運に左右されると感じてしまう。

・無資格者のガイドを禁止する法律に戻して欲しい。それくらいしないと資格保有の魅力・メリットを見いだせず受験者数は増やせないと思う。また試験の免除期間が翌年までしかないことや、口述試験の点数がわからないため口述試験で不合格の場合に何がダメだったのかわからないし、一次試験から再び受験しないといけない負担も大きい。簡単に取得できるのも良くないが、資格の魅力と取得にかかる労力のバランスの見直しをしてほしい。

・名古屋での試験の開催は継続してほしい。2次会場にも検討いただきたい。人口が多い名古屋圏は受験者数確保にも役立つと思われる。

・有資格ガイドを増やさなければならないはずなのに試験のハードルが高すぎると思います。何年もかかっているうちに心が折れます。英語で言えば、会議通訳でもないのに TOEIC900 点、英検一級でないと免除されない意味がわからないし、地理や歴史の知識も全国津々浦々、あそこまで詳しく知っておかないといけないものなのではないでしょうか？本当にガイドをすとなったら現地を下見して色々調べて勉強されるガイドさんがほとんどでしょうから、詳しいこまかな知識を問うよりも、基礎的な知識だったり、インバウンドに人気のところにもっと絞るとか、どの様にして調べてプレゼンしてご案内するか、と言った2次試験のほうの勉強にもっと時間をかけて準備できる様にするべきだと思います。

そのためには一次試験はマークシートなのですからもっと早く結果を発表できないのでしょうか？二ヶ月以上もかかるなんて、何のためのガイド試験なのか？質の良い、現場で使えるガイドを選び育てるための試験であるべきで、今の試験は落とすための試験の様に思えて仕方ありません。

・有資格の場合のメリットを増やさないと受験者数は減っていくのではないのでしょうか。諦めた知り合いも数名います。個人的には若い世代にも浸透してほしいです。オンラインの案内の仕事などもあると楽しそうです。

・有資格者の活躍の場が増える、無資格者との差別化が明確に存在する、という状況にならなければ、受験者数を増やすのは難しいのではないのでしょうか。

・有資実務従事者を増やすためにも一級、二級制にして欲しい。

--

以上